

日本学術会議史学委員会文化財の保護と活用に関する分科会
(第25期・第4回)
議事要旨

開催日時：2021年12月21日（火）13：30～16：40

開催場所：オンライン開催

出席者：福永伸哉、芳賀満、臼杵勲、大久保徹也、奥村弘、菊地芳朗、佐藤宏之、佐藤義明、瀬谷愛、辻田淳一郎、松田陽、松本直子、宮路淳子、小谷竜介
(参考人)

欠席者：内山幸子、恵谷浩子、林部均

書記担当：菊地芳朗、松本直子

議事概要：

(1) 前回議事要旨の確認
異議無く承認された。

(2) 諸問題の報告と検討

①瀬谷 愛委員「博物館所蔵品修理のマネジメントと人材育成」

瀬谷委員より、東京国立博物館の事例を中心に修理事業及び修理人材育成について、経緯、体制、現状、課題等にわたって報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

②小谷竜介参考人「文化財防災センターとネットワークを通じた多様な文化財の救済」

小谷参考人（国立文化財機構文化財防災センター 文化財防災統括リーダー）より、文化財防災に関する基本的考え方と文化財防災センターの発足経緯、現状、課題、文化財防災の今後のあり方などを中心に報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

③奥村 弘委員「大規模自然災害時の地域歴史資料保存とその活用に関する現状と課題ー「史料ネット」の26年間の活動を中心にー」

奥村委員より、阪神・淡路大震災を機に1995年に立ち上げた「歴史資料ネットワーク」、地域歴史資料保存活用を中心にしたまちづくりに大学がいかにかかわるかを考えて立ち上げた「神戸大学人文学研究科地域連携センター」での活動を中心に、災害時の地域歴史資料の保存とその活用に関する現状と課題について報告があり、これを受けて、種々の意見交換、審議を行った。

(3) その他

- ①今期の意思表出について、今年度末に開催の分科会にて方向性を検討することとした。
- ②高輪築堤の保存問題を契機として、文化庁において地方分権下で国が迅速に遺跡保護に関与できる仕組みが検討されることについて、意見交換を行った。

以 上